

2019 年 7 月 17 日

鎌倉市こどもみらい部子ども支援課 様

図書館とともだち・鎌倉

代表 和田安弘

鎌倉・文化の森

代表 瀧下嘉弘

旧図書館の現況と今後について（質問）

1. 昨年の 6 月以降、骨組みだけの状態で、簡易な筋交いによる補強しかなされていませんが、柱、土台等の損傷や腐朽がさらに進行することが懸念されます。何らかの補強措置を加える必要はないのでしょうか。
2. 解体した部材の保存はどのような状態で行っているのでしょうか。保管場所、保管している建具、部材等の内訳、収納の仕方を教えてください。
3. 工事が中断して 1 年以上経過し、今後も工事に入るまでには半年以上はかかると思われます。現在のスケルトン状態を長期間にわたって説明なしに放置するのは市民から不審を招く恐れがあります。この建物がもとは図書館で子どもの家として改築し文化財的価値のある建物として修復する予定の建物である旨の説明板を掲示する考えはないのでしょうか。
4. 今年度に入って実施設計業者を決める入札が滞っている状態にあります。今後の業者選定に向けて、現在どのような作業、手続きを行っているのでしょうか。また、歴史的建造物の修復にかかわる業者を選定する際の指針のようなものがあれば教えてください。
5. 実施設計業者を決める際に具体的にどのような条件設定をするのでしょうか。例えば、当初想定していなかったエレベータの設置に関して、外付けか内付けか、内付けの場合にはスキップの違いがある床面はどうするのか、また文化財登録との関連性について業者にどのような指示を出すのか教えてください。
6. 建築工事に入ったときの地下埋蔵物の発掘の可能性についてはどのように想定し、どのような対処方法を考えているのでしょうか。
7. 実施設計業者を決めることから始まって子どもの家の竣工までの行程や期間について、現時点ではどのように予定しているのでしょうか。

連絡先： 和田安弘

（住所・電話番号は省略）